黒木中学校だより





令和7年10月9日 文責 校長 NO.3



学校教育目標「ふるさとに誇りをもち、知性と社会性を身につけた子どもの育成」 令和7年度重点目標「自分の考えを自信を持って表現できる生徒の育成」



実りの秋 生徒のがんばりも実っていますその1

動きばん きも よ すず かぜ た よる むし こえ ここち ひび 朝晩は気持ちの良い涼やかな風が立ち、夜は虫の声が心地よく響いてきます。あんなに猛暑だったのに、やっぱり季節は確実にめぐるのですね。いよいよ実りの秋です。子どもたちがこれまでのせいか はっぴょう ば も 成果を発表する場が盛りだくさんです。特にこれからは3年生のあとを引き継いだ 1, 2年生の たつやく きたい 活躍にも期待です。

新しい力が育っています。 八女地区新人大会

〇陸上部

・男子砲丸投 | 位 (筑後地区3位で県大会へ)

・男子 | | 0 m H 2位(筑後地区2位で県大会へ)

·男子三段跳 | 位(筑後地区大会出場)

·男子 I O O m 2位(筑後地区大会出場)

○男子卓球部 団体 優勝(筑後地区大会へ)

個人 優 勝

準優勝

○女子卓球部 団体 3位

個人 3位

○剣道 団体 3位

〇女子バレー 準優勝

(敬称略)



一投入魂!

黒木中を拠点校とした女子バレー「チームハ女」 (黒木中・立花中・みさき学園がひとつのチームに)

少人数でも洗練されたアンサンブル ハ女地区音楽会

例年より3週間 早い土曜日の開催となりました。顧問せんせい きょく しあがり ま あ き で の先生も、曲 の仕上がりが間に合うかと気が気でなかったよ

うですが、部活動指導員のお力 を借りながら立派に演奏することができました。 I 2人 というしょうにんずう すいそうがくえんそう ひとり たか ぎじゅつ もと えんそう がっき 少人数 での吹奏 楽演奏 は、ひとり一人の高い技術が求められますが、黒木中の演奏はどの楽器もよな ここち よ えんそう ぶんかはっぴょうかい えんそう たの く鳴っていて、バランスの整った心地の良い演奏になっていました。文化発表会での演奏が楽しみ

です。



投票は生徒会参加への第一歩 生徒会役員選挙 立会演説会

より良い学校づくりを願い、責任を持ったいっぴょう とう 一票 を投じてくれたのであればうれしいです。そして、「投票して終わり」ではなく、「選んだ人をみんなで支えていく気持ち」を

大切に。生徒会交代式 は10月27日です。



責任と願いをこめて一票



候補者の演説

しあわ ていぎ

幸せの定義とは

パラリンピック自転車競技 金メダリスト

杉浦佳子さん(54歳)の講話から

まうきょう 東京とパリ、2度のパラリンピックの自転車競技で連続金メダル獲得、そして今でも世界 しんきろく まうしん すぎうら はなし せっとくりょく 新記録を更新している杉浦さんのお話は、やはり説得力がありました。

4.5歳でレース中の転倒で右半身がマヒ状態になり、「ひとりでは生活できない」と医師に言われながらも、懸命なリハビリの末、現在の活躍へとたどり着かれました。

写真からの印象では、大柄なかたを想像していましたが、意外にも華奢で小柄なかたでした(でも、太ももはやはりウエストくらいあるそうです)。

「ありがとう」といえる 「ありがとう」と言ってもらえる 「ありがとう」連鎖をつくろう!

> 障がいや短所は努力で 乗り越えられる!



質問コーナーで最初に質問してくれた人には 本物の金メダルをかけてくださいました。



まいご しあわ なに 最後に「幸せって何?」と私たちに問われました。 彼女のこたえは

- ★目標や夢がある
- ★やるべきことがある
- ★目標に向かって努力することがある
- ★達成感がある

まてき、 ぇがぉ ひゅっ 素敵な笑顔の秘密がわかりました。

講話後に校長室 で少しお話 をしました。一流の指導者やメンタルトレーナーなど、たくさんのスタッフに囲まれ、緻密に計算されたトレーニングを積まれているそうです。気さくで偉ぶったところがなく、たくさんおしゃべりしていただき、まさに「実るほど こうべ(頭)をたれる稲穂かな」でした。



保護者の方へ 前期教育通信(通知表)の通信欄を割愛しました。

このたび、本校では教育通信(通知表)の見直しを行い、今年度より前期の通信欄(所見欄) かつあい こうき つうしんらん しょけんらん とお を割愛させていただくこととしました。後期の通信欄(所見欄)には、I 年間を通したお子さまの でた 様子をお伝えいたします。

こんご めんだん がっこう など つう がくしゅう せいかつ ようす ていねい つた 今後は面談 や学校だより等を通じて、学習 や生活の様子を丁寧 にお伝えしてまいります。 なにとぞ りかい ねが もう あ 何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。